

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 金 3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 III (Comprehensive English III)		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	2Lb	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 藤本 ゆかり /研究室: 非常勤講師控室 /TEL: 095-819-2078(全学事務室) /オフィスアワー: 授業終了後			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 様々な文化や分野における、新旧の個性豊かな英文を読み、先人の優れた知恵や思想を学ぶ。社会情勢の不安定さや、科学技術の急激な発達の中にある今こそ、改めて人類の叡智に触れることにより、教養を高め、自己を磨く一助とする。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来教員を目指す学生の皆さんには重要且つ必要不可欠です。</p> <p>英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。</p> <p>授業方法: 予習を充分に行ってきた上で、英文の内容についての意見を発表する。英文を精読し、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようになる。テキストの練習問題により、説明と指導を行いながら、語彙と文法事項の定着を図り、また、リスニングの能力を養う。テキストのテーマについて、意見を述べ、或いは討論し、自らの考えを深める。テーマについては、様々な資料等を用いて紹介する。</p> <p>授業到達目標: 世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングの能力を伸ばすことができる。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要) テキストの題材は、多岐にわたり、親しみやすく興味深い内容のものである。毎回、十分な予習を前提とした上で、テーマについての意見を発表する。或いは意見を交換し合う。資料を示して、それらの考察を行う。</p> <p>テキストの英文を精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び英文理解の方法や技術を指導し、リーディングスキルの向上を図る。本文の内容理解をチェックするための練習問題を解き、その中で語彙や文法事項の指導と解説をする。</p>			
<p>第1回 導入・授業内容の説明</p> <p>第2回 二十年後 &lt;文学&gt;</p> <p>第3回 科学概論 &lt;科学&gt;</p> <p>第4回 フランクリン自伝 &lt;歴史&gt;</p> <p>第5回 スポーツと競争心 &lt;随筆・文化&gt;</p> <p>第6回 物を忘れる方法 &lt;随筆&gt;</p> <p>第7回 日本国憲法全文 &lt;政治・法律&gt;</p> <p>第8回 もし3日間だけ目が見えたら… &lt;随筆&gt;</p> <p>第9回 ゲティスバーグ演説 &lt;政治・思想&gt;</p> <p>第10回 孤独 &lt;文学&gt;</p> <p>第11回 言語の持つ特質 &lt;言語&gt;</p> <p>第12回 サンタクロースは本当にいるのですか? &lt;文化&gt;</p> <p>第13回 読書論 &lt;文学&gt;</p> <p>第14回 「青春」 &lt;人生論&gt;</p> <p>第15回 まとめと定期試験</p>			
<p>発表の場を、教職に就くことを意識しての大切なプレゼンテーションの機会と捉え、入念な準備をして臨んで下さい。(評価の対象ともなります。)</p> <p>また、教育学部で学ぶにあたり、書物を多く読み、各方面における教養を身に付けておきましょう。</p>			
キーワード	リーディングスキルの向上・英語で書かれた名文・人生の叡智		
教科書・教材・参考書	Comprehensive English through Select Unforgettable Writings 『一度は読んでおきたい名文から学ぶ総合英語』 (野村忠央 他 編著 : 朝日出版社) 英和辞書(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。 主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10~20%を基準とします。  また、授業態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。 授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	英語のリーディングスキルを養い、定着を図る。 多岐の分野にわたる英語の名文を読み、教養を高める。		
備考(準備学習等)	授業には、必ず予習をして臨んで下さい。 予め英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。		